

聖霊の有効召命と新生

1. 恵み契約は、どのように適用できますか。

父なる神は墮落した人間に、キリストを通して救いを約束されました(創3:15)。これを恵み契約と呼びます。このキリストの恵みと福音の恩恵などに参与すること、つまり、恵み契約の適用は、神が定められた方法を用いて、それを有効にすることです。そして、神が定められた方法は、神の御言葉を手段として、聖霊がその上に御業を行われることです。

2. 恵み契約は、すべての人に適用されますか。

すべての人々には一般的に神の恵みが宣言されます(1テモテ2:4)。しかし、多くの人々が、神の御言葉と福音を聞くけれど、理解はできません。彼らは、行為契約の下にいるから、自分の行為に頼って道徳的に生きていくことで十分だと考えています。また、多くの人々は自分が罪人だと言う事実を認めないので、救い主が必要とされないのです。ある人は、十字架で死なれたキリストを信じるのが、自分の理性的判断で愚かに見えるから、恵み契約を自分に適用させる

心すらないのです。

世の多くの人は、この世の楽しみと富と名誉を追及するのを人生の目的としているので、自分の霊的状态に全然関心がありません。彼らは、恵み契約について心に留めようとしません。恵み契約は、ただ、神の選ばれた民に適用されます。選ばれた者たちに、神の時に、恵み契約が適用される時、彼らは喜んで神の慈悲を受け入れるようになります (ヨハネ 6:44)。

3. 恵み契約の適用の時、三位の神の位格は、どんな役割をされますか。

恵み契約は、神がご自身の選ばれた民に救いを施すために、彼らに、イエス・キリストに対する信仰を持つようにさせてから結ばれる契約です。父なる神は救おうとする民を選ばれ、キリストは、選ばれた民に救いが起こるように贖いの働きを実行されました。そして、父と子が聖霊を遣わして、キリストの贖いの働きが、選ばれた民に有効に (あるいは効力があるように) させるのです。これを「聖霊の有効 (効力ある) 召命」と呼びますが、これは父がなさる働きです (ヨハネ 6:44-45、Ⅱコリント 4:6、エペソ 1:17, 19)。神は、聖なる召命によって私たちが呼ばれます。従ってそれを、聖霊の内的召命、あるいは、霊的召命と言います。これは神が、ただで与える恵みであって、全能なる力による働きです。その恵みによって靈魂は、世から救われ、キリストの国へと入って行けます (ヨハネ 14:22, 17:9、マタイ 11:25、Ⅰコリント 11:28)。

4. 聖霊の有効召命の中で、罪の覚醒とは、何ですか。

聖霊の有効召命は、神の目的に従って、聖霊さまが恵みによって召すことです (ロマ 8:28)。これは、その力によって召されることで、道徳的に説得するの

ではありません(ヨハネ6:44)。神の全能なる力によって密かに召され、その靈魂に、キリストに行くようにさせるのです。聖靈の力は、靈的に覚醒させて(エレミヤ31:33、ヨハネ6:45)自分の罪を悟らせ、神の怒りに対する恐れを持つようにさせます。

聖靈は、罪と罪過によって死んでいる靈魂に、自分が罪人であることを悟らせることから、覚醒の御業を始めます。その靈魂に、自分は不義なる者だと知るようにさせます(ヨハネ16:8)。つまり、罪を悟らせて、その罪が汚いのを知るようにさせます。それで罪人は、自分の罪に対して苦しみ、悩み、悲しみます(エレミヤ31:19)。

また聖靈は、その靈魂の上に罪を憎む性向を植えさせ、罪から離れるようにさせます(エゼキエル36:25)。これを私たちは「悔いなく折れる」と呼びます(詩34:18)。罪から離れ始める時、私たちは外的に罪を犯させる友達から離れ、罪を犯させる環境までも避けようと努力します。世的な楽しみを迫及したところから離れ、靈的なことに、より一層関心を持つようになります。

5. 聖靈の有効召命の中で、その靈魂を謙卑にさせる、御業とは何ですか。

聖靈の覚醒させる御業によって罪人であることを悟った靈魂は、罪から立ち返り、神の御前に罪を犯すまいと努力します。これから自分を改革させて神の戒めを守ろうと努力もします。しかし、まだ意志が更新されていなくて、靈的でもないのです。そのような努力は失敗します。自分の努力で義となろうとする試みが失敗することで、その靈魂はさらに低くなります。自分の努力と行為によって義となれない事実を悟るからです。このような状態にある靈魂は、ただ、神の恵みのみ赦されることと、神の恵みのみ、自分の不義を覆うことができるという事実を知り、ただ神の恵みを求めます。このような過程を通して神は、

その靈魂を低くし、謙卑にさせ、ただ、神の恵みだけを求めるようにさせます。

6. 聖霊は、その有効召命の中で、人間の自由意志を

どのように更新させますか。

人間の自由意志は、アダムの墮落によって、靈的なことに完全無能です。従って人間自らは、靈的なことを追及しようともせず、することもできません。更新されない自由意志を持つては、キリストを信じることもできません。それで聖霊さまは靈的理解力を与え、それを意志に適用させ、更新するようにさせます。意志が更新されて（エレミヤ 31:33、詩 110:3）靈的なことに傾けられ、それを掴むようにさせます。それからその靈魂は、この世から神の国へ入るようになります（ヨハネ 15:19）。選ばれた者だとしても、このような聖霊の有効召命がないなら、その人は自然的な状態にいることで、まだ、この世の者に過ぎません（エペソ 3:5）。

7. 罪の赦しを求める靈魂に、聖霊は、どのようにキリストを、示しますか。

聖霊は、罪の赦しと自分の不義を覆うことのできる恵みを求める靈魂に、福音を通して、キリストの中に罪の赦しの恵みと、義とされる恵みがあることを悟らせます。また聖霊さまは、その靈魂に信仰を与えて、恵みを得るためにキリストに走っていけるようにさせます。キリストの中に用意された救いの恩恵などを、切実に必要としていた覚醒された罪人は、キリストの大切さを知っているのです。走って行ってキリストを掴むようになっていきます。この時、その靈魂は、キリストを掴むのに困難があっても構わずにキリストに走って行きます。それは、その靈魂に、信仰が生じた証拠です。

8. 聖霊の有効召命の目的と、原因は、何ですか。

聖霊の有効召命の目的は、私たちがキリストに行くようにさせ、キリストと結び合わせることで、キリストに留まらせようとのことです(ヨハネ 16:4)。つまり、私たちが神の子どもになるように、神の子どもとして天を相続として得させるためです。聖霊の有効召命の原因は、聖霊さまです。人間は、自分を自ら回心させることはできません。一方で、有効召命の道具的原因は、御言葉の働きです。

9. 聖霊さまが、有効召命を起こさせる方式は、何ですか。

人が抵抗できないように(不可抗力)聖霊さまが召すのです。これは、人々の意志に逆らい、暴力的に召すのではなく、彼らの頑なさや強情を取り除いて召されることを意味します。聖霊は、柔和な霊として暴力的ではなく、武力によって強制的になさらないです。この召命は、道徳的召命をはるかに超えるもので、実際的な効果が現れるようになります。神が、私たちの心に割礼を行うことであり、死んでいた霊魂を目覚めさせ、立ち上がらせ、新しい心を与えることです。

10. 聖霊の有効召命が、必要な理由は、何ですか。

傲慢と頑固で固まってしまっている罪人の心は、自分自らキリストに絶対に出て行かないだけでなく、行くこともできません。従って聖霊は、選ばれた罪人を呼ぶ時、彼らの心の罪を叱責させ、神の恵みを受け入れるに相応しく造ります(1テサロニケ 2:14)。この時、聖霊は、律法を用いて罪人に、自分たちの罪を見るようにさせ、罪の赦しを切実に必要とするようにさせます。

聖霊は、罪の覚醒が起きている罪人に、神の御言葉をさらに注意深く聞くようにさせます。また聖霊は、罪人自身に、キリストを強く掴ませるために、罪人の心を砕き、貧しくさせ、悔い崩れるような心を造ります。低くなり、悔いなく折れる心になった者たちに、聖霊は、彼らの霊的な目で、キリストをはっきり見るようにさせ、彼らが喜んで全き心でキリストに出て行くようにさせます。聖霊による、このような召命の中で、罪人の心は変わり、罪を遠ざけ憎むようになります (エペソ 4:12)。ただ、神の恵みのみ霊的満足を、追求するようになります。

11. 新生とは、何ですか。

新生とは、新しく生まれることです。つまり「上から生まれる」こととして、新しく誕生、新しい始まり、新しい生き方の紀元を意味します。新生しなければ神の国を見ることもできないだけでなく (ヨハネ 3:3) 入ることもできません。新生は、生まれた時から霊的に完全に死んでいた人々に対する聖霊の御業 (エペソ 2:1-10) として、人の心を新しく創造し、霊的死から生かして、新しい命を与えることです。それゆえ新生した人は、新しい被造物になります (II コリント 5:17)。

12. 新生は、信仰より先に、霊的に発生しますか。

新生が、信仰より先行します。罪責と腐敗した本性を持って生まれたすべての人間は、新生のために自分自身を新生に向かわせたり、聖霊さまと共に働くこともできません。従って、新生を決心したり、新生を選んだりもしません。自然人が、どのような人間の意志にして、神を選んだり、掴んだりする以前に、神は、私たちが創造の前から選び、水と聖霊によって新生するようになさいま

す（ヨハネ 3:5）。従って、贖い主・神の絶対主権的な恵みによって新生した以降は、つまり、新しく生まれた後は、私たちの意志は行動をもって、キリストを信じるのです。

また信仰も、私たちから出るものではありません。救いに至る信仰、それ自体も神の賜物です（エペソ 2:8）。聖霊の有効召命を受けた人は、必ず、神の御言葉と聖霊によって新生するようになり（I ペテロ 1:23）、救いに至る信仰を、賜物として受けるのです。